



Title	平成一六年度一学期法学部試験問題
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2005, 54(6), p. 194-202
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54777
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成一六年度一学期試験問題 大阪大学法学部

【設問2】刑法における業務の種類と定義について論じなさい。

▼地方自治法 I

村上武則教授

一九九九年（平成一一年）地方自治法が大改正され、機関委任事務が廃止されるなど、地方自治のルールが大きく変わった。さらに、二〇〇二年（平成一四年）にも、再び地方自治法が改正され、直接民主主義の制度を中心

にかなりな動きがあった。

このような地方自治法をめぐる大きな変化を意識しながら、以下の二問のうち、一問を選んで解答してみよ。

(1) 地方自治法の改正を関連づけながら、条例制定権に

関して、重要な法的問題点を考察してみよ。

(2) 地方自治法の改正を関連づけながら、住民自治に関して、住民にとって大きな意義のある制度改革または判例等を取り上げて、考察してみよ。

▼刑法 II

佐久間修教授

以下の問題の中から、二問を選択して解答しなさい。

【設問1】

内縁の夫甲が、自分の連れ子である幼児乙（五歳）に対して、連日暴行を加えているにもかかわらず、乙の悪戯に困っていた母親丙がこれを傍観したため、ある夜、酒に酔った甲が、乙の頭部をビール瓶で殴って、頭蓋骨骨折により乙を死亡させるに至った。丙の負うべ

【設問3】甲から多額の借金をしていた乙は、甲がもつている乙名義の借用証書を焼き捨てる目的で、夜半、覆面をして甲宅内に忍び込んだ。しかし、居間にある甲の金庫から、乙が上記借用証書を取り出したところで、たまたま甲の妻丙に見つかったため、乙は、丙に対し暴行。脅迫を加えるとともに、その場から逃走した。ただし、乙は、逃走する途中で、甲宅から持ち出してきた上記借用証書を含む文書類のすべてを焼き捨てたこともあり、ほとんどの重要書類を紛失した甲は、最終的に債権回収を断念したものとする。乙の罪責はどうか。

【設問4】Aは、B銀行の支店長の地位にあつたが、自己の部下であるC課長に命じて、Aが懇意にしている取引先のDの銀行口座に、多額の金員を振込入金させた。その際、直属の上司であるCから振込送金の依頼を受けた融資担当係のEは、Aの不正貸し付けの事実に気づいたが、Aと一緒にCも失脚すればよいと思って、命じられるままにコンピュータ端末を操作した上で、匿名の告発状を近くの警察署に送った。その結果、Aと通謀していたDは、自分の口座にある現金を引き出す以前に逮捕される一方、AとCも、B銀行から告発されることになつ

た。Aの負うべき罪責は何か。

▼民法Ⅳ

田中宏治助教授

【設問1】 XはYに江戸時代初期の絵巻物を売り、もし品物が贋物であれば契約の解除を認めるという特約を結んだ。引渡及び代金支払後、この絵巻物は後世の複製であることが判明したが、間もなく大地震のためにY宅が崩壊し絵巻物も焼けて無くなつた。

Yは契約を解除して代金を取り戻すことができるだろうか。

【設問2】 X所有の船舶が、ある夜、港内の定められた係留場所に碇を下ろしていた。ところが朝になつてみると、船尾に大穴を空けられており、後方には舳先の壊れたY所有の船舶が停泊していた。

XがYに對して損害賠償を請求する場合の法律上の問題を説明せよ。

▼商法I

吉本健一教授

問題 支配人に関して、以下の問い合わせに答えなさい。

(1) 支配人の意義について、学説の対立を踏まえ、論じなさい。

(2) 商人Aがその支配人Bを解任したが、Bは依然として「営業所長」の肩書きを使用して、取引を行つている。この場合に、以下の問い合わせに答えなさい。

(i) 支配人Bの登記がそのまま残存している場合に、

Bと取引をしたCに対しても、Aは商法上どのような責任を負うか。

▼商法II

山下眞弘教授

左記の四問中二問を選択して解答しなさい。

(1) 資本・株式数 資産の変動の関係について、①新株引受権の行使、②準備金の資本組入れ、③株式分割、④株式併合、⑤資本減少の各場合の変化を説明しなさい。

(2) 自己株式の規制について、①自己株式取得の弊害への対処、②保有する自己株式の資産性が否定されるわけ、③その処分に新株発行に関する規定の多くが準用されるわけを説明しなさい。

(3) 配当可能利益がないのに配当がなされた場合、①その効力はどうなるか、②会社・株式・取締役・会社債権者の法律関係はどうなるか。

(4) 株主総会決議に手続上または内容上の瑕疵があるとき、①一般原則により処理しないのはどうしてか、②それでは、どのように処理されるか、③瑕疵が軽微な場合はどうなるか。

▼商法IV

山下典孝助教授

下記のすべての問題について解答しなさい。

1 X株式会社はY損害保険株式会社との間でX社の自社ビル本社に保険金額一億円の総合火災保険契約を締結していた。当該保険契約にかかる保険約款には、法人の「理事、取締役または法人の業務を執行するその他の機関」による保険事故招致について保険会社は保険金を支払わない旨規定されていた。

AはX社の全株式を保有する者であり、X社の社長であつたが、X社の経営悪化の責任をとるために表面上、社長を辞職すると共に、取締役も辞職したが、現在もX社を事実上支配する地位にあつた。Aは債権者からの債務の弁済として自社ビルの売却を考えたが、売却希望価格を遙かに下回る価格でしか希望者が現れなかつた。そのため、本社ビルを売却するのではなく、本社ビルに火をつけ保険金を取得して、その金銭で債務の弁済に充てることを計画し、本社ビルを放火し、その結果として、本社ビルは全焼となつた。

この場合、Y保険会社は、X社からの保険金請求について支払を拒むことはできるのか。必ず理由も丁寧に説明した上で解答しなさい。

2 X社は、X社の平取締役Aを被保険者とし、Y₁生命保険会社とY₂生命保険会社、二社との間で死亡保険金総額二億五千万円の企業役員生命保険契約に加入していた。その二つの保険契約における保険金受取人は、X社であ

った。Aは、X社の事実上の支配者である暴力団組長Bから多額の借金をしており、X社の形式的な取締役に過ぎなかつた。BはAに対して借金が返せないならば、自殺して保険金で返せと、自殺を教唆ないし強要していた。Y₁社、Y₂社双方の会社の保険約款において、被保険者が責任開始の日からその日を含めて一年以内の被保険者の自殺については保険金を支払わない旨の規定が置かれていた。Aは、保険契約締結の一年一ヶ月後に宿泊先のホテルから飛び降り自殺を試みたが、偶然にもホテルの従業員がその場を見て、ことなきを得た。しかし、その一ヶ月後、AはX社の近くの川で水死体として発見された。Aは、借金苦による自殺であるとする遺言を残していた。そこで、X社は、Y₁社およびY₂社に對して総額二億五千萬円の死亡保険金を請求した。この場合に、Y₁社及びY₂社はX社からの支払に對してどのような理由で支払を拒むことができるか。その理論構成を丁寧に説明した上で、支払が拒否できるか否か検討して下さい。

▼民事訴訟法

仁木恒夫助教授
池田辰夫教授

民事訴訟手続において、当事者主義と職権主義は、それぞれどのような局面で、いかに現れているかについて論じなさい。

平成十六年度一学期試験問題

▼労働法

水島郁子助教授

▼行政学

曾我謙悟助教授

問 1 A社の労働時間は、始業九時一五分、終業一七時

(休憩四五分)と定められ、所定労働時間が七時間となつてゐる。A社の就業規則では、「会社は必要に応じ従業員に残業を命じることができる」と規定されている。

A社で働くBは、上司から残業を命じられた。残業は二時間程になりそうである。Bは、残業命令に従わなくてはならないだろうか。

問 2 以下のうち一つを選んで説明しなさい。

① 懲戒解雇時の退職金不支給規定の適法性

② 職務発明

▼法社会学 福井康太助教授

レポート

▼アジア法論 高見澤磨講師

レポート

▼西洋政治史 村上信一郎講師

レポート

▼外交史 坂元一哉教授

レポート

問 1 日米戦争の原因について具体的に論じよ。

問 2 次の語句の中から一つを選び簡潔に説明せよ。

- 1 芦田修正
2 福籠丸事件
3 事前協議（日米安保条約第六条にかかる）

▼EU概論

戸澤英典助教授

戦後の日本の行政の特徴について、講義で扱った論点をできるだけ幅広く取り上げ、歴史的な変化の記述や他国との比較も行いながら、論述しなさい。

問 1 以下の四問のうち、二問を選択して答えなさい。

問題 1

下記の表は二〇〇四年六月に行われたヨーロッパ議会選挙の結果である（省略）。この選挙結果につき、主要な論点を箇条書きにした上で、各自の評価を述べよ。

問題 2

EUの立法・行政の特徴の一つとも評される「implementation deficit」につき、EUという特異な政体との関係にも留意しつつ論ぜよ。

問題 3

EUの法体系を示す名称には、「EU法」「EC法」「EU（EC）法」「ヨーロッパ法」の名称が混在している。その理由を法体系の構造に即して述べよ。

問題 4

EUの拡大について、(1)その歴史的展開、(2)二〇〇四年五月の第五次拡大の特色、(3)今後の展望と問題点、の論点に触れながら、自由に論ぜよ。

▼法学概論 國井和郎教授

問 I 慣習を論ぜよ。

問 II AはBとの間で、A所有の甲建物の売買契約を締結したが、甲建物は落雷により全焼した事案につき、これを三つの場合に場合分けをして、それぞれの場合における法的処理を解説せよ。

阪大最後の一年生講義を終えるにあたり、一人の先輩として全受講生に「驚馬十駕」を贈る。これは、荀子の「脩身」にある「驥（足の速い優秀な馬）」は一日にして千里なるも驚馬（のろい馬）十駕すれば之に及ぶ」から生まれた成語です。「駕」は馬に車をつけて走ることで、

「十駕」は結局、一〇日の行程。したがって、たとえ驚馬であっても一〇日かけて休まずに走つていけば驥に追いつける、との意味になる。拳々服膺して大成して欲しい!! 西洋でも、ニュアンスはあるが、“Little and often fills the purse.”という言葉がある。

▼政治学概論 龍口剛教授

設問 1 日本国憲法が、ほぼ同時期に成立した西ドイツ憲法（ボン基本法）と比較した場合に持つてある内容的特徴について、日本とドイツにおける占領をめぐる国際・国内諸関係の相違を視野に入れつつ、アメリカの占領政策のマッカーサー草案への反映という観点を重視して、説明せよ。

▼行政法 1 高橋明男教授

大手スーパーXは、地方の中心都市Y市の、工業地域に指定されているが工場が存在しなくなっている近郊地区において工場跡地を買収して、シネマコンプレックス（以下、「シネコン」）を併設したショッピングセンターを設けることを計画したところ、Y市当局者も市の発展に寄与するとして支援する姿勢を示したため、Xはショッピングセンターを建設・開業し、合わせて、建築基準法四八条一号但書に基づいてシネコン設置許可申請を行つた。ところが、Y市中心部にある商店街がシネコン開業に反対し、Y市議会も中心市街地活性化策に逆行するという理由で反対決議をするに至り、Y市当局は、Xに対し、同業者らの同意を得て反対意見をなくすなどの

▼憲法 I 高田篤教授

下記の設問1、2それぞれについて解答せよ。

環境整備をするよう行政指導を行つた。そこで、Xは、

同業者と調整した上、施設周辺の自治会の賛成意見書及

びY市人口の三分の一に及ぶシネコン設置賛成署名簿を

提出したが、Y市長は公聴会を開催してX、同業者、市民の意見を聴取した後、「許可申請内容は、工業の利便上又は公益上必要と認められない」という理由を付して、申請を認めない決定を行い、同日、記者会見を開いて決定の説明を行つた。これに対し、Xは、拒否決定の取消を求めて出訴した。この事例について、次の順序で論じよ。

Xの主張として考えられるものを挙げよ。

(1) Y市側の反論として考えられるものを挙げよ。

(2) Xの請求は認められるべきか、論じよ。

〔参考条文〕 建築基準法（省略）

▼国際法 1 村上正直教授

次の二問に回答しなさい。

1 国家承認について述べなさい。

2 条約や各国の国内法令にしばしばみられる、犯罪人引渡しに関する諸原則について述べなさい。その際、「犯罪人引渡しに関する日本国と大韓民国との間の条約」（日韓犯罪人引渡し条約）に関連規定がある場合には、必要に応じて該当する条文を指摘し、引用し又は要約するなど、それに触れながら述べなさい。（添付資料省

略

▼民法 I

國井和郎教授

問I 民法四三条の意義を論ぜよ。

問II AはA所有の甲建物において、Cから^a大型プレス機を賃借し、Dから鋼材を購入して、弟Bとともに鉄工業を営んでいたが、資金繰りに窮してEから一億円を借り受けた場合において、以下の事情が認められるときの各所間の法律関係を論ぜよ。

(1) BがAの実印や権利書を持ち出して、AからBへの売買を原因とする甲建物の所有権移転登記を経由した。

Aはこれに気づいたが、登記名義回復の費用を捻出できず、名義回復を先送りしていたところ、FがBから甲建物を買い受け登記を了した。AはFに対しB F間の所有権移転登記の抹消を請求しうるか。

(2) AはEに対する借金の担保として甲建物の所有権を移転することとし、AからEへの所有権移転登記を経由した場合において、Aが借金を返済する前に、Eが甲建物を第三者に譲渡して所有権移転登記を了したとしても、Aが借金返済と共に甲建物の所有権を回復する法的手段はないか。

(3) AはD等から購入した鋼材をA所有の乙倉庫に収納していたが、Eの上記債権を担保するため、乙倉庫内にある鋼材につき、Eとの間で、①乙倉庫内の鋼材

一切につき一括して、EのAに対する貸金債権の担保のため、その所有権をEに移転する。②EはAに在庫鋼材を占有させ、鋼材をAの営業に伴って処分する権限を付与する。」などとする譲渡担保契約を締結していたところ、Dが動産売買の先取特権行使してきた。

(4) EはDに対抗できなか。

Aは同業者Gから運転資金の融資を受け、その担保として、 α を含む甲建物内の一切の機械をGに譲渡するとともに即時、Aが機械一切をGから借り受けることとした場合に、Cは所有権に基づき α を取り戻すことができるか。

(5) Aが上記(4)の運転資金の返済をしないため、GがAの事業を引き継いで営業を開始した場合にも、Cは所有権に基づき α を取り戻すことができるか。

▼知的財産法

茶園成樹教授

る。消費者は、Yの生産する物を用いて、個人的に当該の発明を実施している。Yは、Xの特許権を侵害するかどうかについて論じなさい。

▼日本近代法史

中尾敏光教授

下記の(1)(2)(3)の問題から一問を選択し、(4)(5)の問題から一問を選択して、二問について答えなさい。

(1) いわゆる明治民法における「家」制度は、戸主を家長とする観念的な「家」と、夫を家長とする実体的家族との二重構造をとったとされている。各々について、具体的に説明して論述しなさい。

(2) 明治六年の地租改正関連法令によつて実施された地価調査と地券の交付という作業は、もともと何の目的のために行われたのか、また、日本では、そのためにはどのような特徴を有したのか、を説明し、さらに、土地と建物・船舶の所有権の公示機能は何によつてなされたのか、を明らかにし、その後どのように変更されていったのか、について述べなさい。

1 物品デザインに関する保護と著作権法による保護、不正競争防止法二条一項三号による保護を比較しなさい。

2 特許法三九条と同法二九条の二を比較し、その違いを述べなさい。

3 Xは、物の発明についての特許を有している。Yは、その物の生産に用いる物を生産し、消費者に譲渡してい

(3) 明治期の裁判制度のうち、明治八年の改革と明治一七年の改革について、各々の改革の特徴を具体的に説明して論述しなさい。

(4) 明治憲法における君主主義と立憲主義の関連について、天皇の権限及び帝国議会の権限を中心に論述しなさい。

(5) 明治二年制定の市制町村制について、市制と町村制

の共通点と相違点を具体的に説明して論述しなさい。

▼日本政治思想史 米原謙教授

1 以下の文章は、いずれも徳富蘇峰が書いた論説の一節である。これらの文章を古い順に時代順に並べ替えたうえ（A→B→C→Dのように）、日清戦争から大正末までの蘇峰のナショナリズムがどのように変遷したかを説明しなさい。

A 「米国の上下両院は、我が日本国民に向つて三斗の熱鉄汁を飲ました。（中略）吾人は恥を知ると同時に、恥を忍ばねばならぬ。恥を忍ぶと同時に、如何にして恥を雪ぐかを、熱図せねばならぬ」。

B 「その日本を重く見るのは、人類の猿猴に、もつとも接近したものとなし、その軽く見るのは、猿猴の人類にもつとも接近したるものとなす。而して世界に於ける一種の風変わりなる見物となし、眞面目に待遇せざりし一事は、蓋し争うべからざる事実といわざるを得ず」。

C 「我が日本の世界に處する道は、ただ二あるのみ。

その一は、白人万能の境遇に順応し、自らその保護色を帯びるべく白化し、（中略）擬白人となるにあり。擬白人の生涯を送るにあり。その二は、自ら黄色人種採り、我が短を補い、自ら研磨、精進して、すべての

点において白人以上の資格を備え、事実の論理の前に白人を承服せしめ（後略）」。

D 「我が国民の今日に於て、最も関心するは、世界の好意なり。我国は世界を敵として、自個の意志を行せんと欲せずして、世界を味方として、自個またその一要素となり、文明世界共有の慶福を取得し、普遍の恩恵に頼らんと欲するにあり」。

2 以下の文章は近世以後の著名な思想家の文章の一節である（時代順に並べてある）。著者名を書きなさい。

A 「そもそも道は、もと學問をして知ることにはあらず、生れながらの真心なるぞ、道には有ける。真心とは、よくもあしくも、うまれつきたるままの心をいいう」。

B 「東洋道德西洋芸術、精粗遺さず、表裏兼該し、因りてもつて民物を沢し、国恩に報ゆるは、五の樂なり」。

C 「東京なる民友記者はその国民の友第十五号を寄せ来れり。その首章には、士族の最後と題して、豪傑を崇拜する士族と自由民権の旨義を信奉する士族と皆是れ同一「士族根性」にして、今後の廢物たることを論じ、相更はらず流麗の筆を揮ふて余力を遺さず論難せり。（中略）而して記者の口吻、何と無く冷笑嘲諷の氣を帶ぶるは何ぞや。（中略）有名無形の進化神に一

任して、己は唯静恬なる傍観者の地に立つの故に非ずや。進化神は吾人の脳中に宿するに非ずや」。

3 朝鮮戦争が国際政治や戦後日本に与えた影響を述べなさい。

「皇統の万世一系あるは万世の長き間固

一皇統の元廿一年の元に元七の北の間賊が管ひて
胆残忍なる乱臣賊子にして天皇は遠き以前に其内容を
掠奪せられ神道の羅馬法王として絶望したるを以てな

二 次の用語を簡単に説明しなさい。

- | | | | | |
|---------------------------|--|--|---|-----------|
| | | | 1 | N P T |
| 「いわゆる民主主義とは、法律の理論上主権の何人 | | | 2 | 三民主義 |
| に在りや」ということは措いてこれを問はず、ただその | | | 3 | ドミニノ理論 |
| 主権を行用するに当つて、主権者は須らく一般民衆の | | | 4 | ニクソン・ショック |

3 以下のいずれか一問を選択して答えなさい。

(1) 福沢諭吉の国体論について、その問題意識や考え方

(2) の変化をふまえて説明しなさい。
戦後の社会主義思想について、山川均を中心¹に解説し、さらに六〇年代初めの構造改革論にも言及しなさい。

▼比較政治

……

尹景徹教授

一
次
の
五
問
の
う
ち、
二
問
を
選
び
論
じ
な
さ
い。

尹景徹教授

1 中國・日本・朝鮮三国の開国に至る過程を比較して論述しなさい。

2 戰後、朝鮮半島が分断国家になる過程を説明しなさい。

▼ 外国語文献研究 11	竹中浩教授
▼ 法政計量論 1	田中規久雄講師
◆ 平常点	知原信良教授
◆ 租税政策論	龍口剛教授
◆ 平常点	
▼ 昭和の政治	
◆ 平常点	

(阪大法学) 54 (6-202) 1492 [2005.3]